

SAKAE GREEN NEWS

今月の特集：除草剤の作用機構

2020年10月号

株式会社 サカイグリーン 富山市野々上150番地 ISO9001/14001取得 TEL(076)434-0036 FAX(076)434-4968

様々な作用機構

除草剤といっても、その作用機構は剤によって様々です。今回は、除草剤の作用機構についてご紹介します。

除草剤の主な作用機構

同じ除草剤を使用し続けると、その除草剤に耐性のある雑草が繁茂してしまうといった現象が起こります。除草剤を使用する際は、違う作用機構の剤をローテーションで使用すると良いでしょう。

頂芽
(成長点)

植物ホルモン

植物ホルモンは、植物の代謝や成長等を調整する物質で、頂芽で多く生産される。

植物ホルモン作用の攪乱

植物ホルモンの一つ、オーキシン(細胞分裂・伸長促進)と類似の化学物質でホルモンバランスを乱す
MCPP液剤、サイトロンアミン液剤、スコリテック液剤

光合成

葉では、光を利用して、水と二酸化炭素から炭水化物を作り出している。

光合成阻害

植物特有の機能である光合成を阻害する
レンザー、キレダー、ハイバーX、カーメックス顆粒水和剤
※以下、下線のある剤は非農耕地用

アミノ酸

アミノ酸は、生物にとって欠かせない物質。植物は根から吸収した養分、光合成による炭水化物から、体内でアミノ酸を作っている。

アミノ酸合成阻害

植物の成長に必要なアミノ酸(またはその触媒であるアセト乳酸合成酵素:ALS)の生合成を阻害する
アトラクティブ、サーベルDF、モニュメント顆粒水和剤、ハーレイDF、ブロードスマッシュSC、トリビュートOD、クサトローゼ

代謝

代謝とは、生きるために必要な、体内で起こっている合成・化学反応などのこと。

代謝阻害

植物ホルモンの一つ・ジベレリン(細胞伸長や発芽促進など)や分裂組織の代謝を阻害する
ロングパワー顆粒水和剤、フレノック液剤・粒剤

細胞分裂

幼芽・幼根の成長点では活発に細胞分裂が行われる。

細胞分裂阻害

雑草の幼芽・幼根の成長点での細胞分裂や、それにかかわるたんぱく質(細胞壁など)の合成を阻害する(主に土壌処理剤)
ラポストフロアブル、カーブSC、グリーンアーザラン液剤、ディクトラン乳剤、バイザー水和剤

2種類の作用機構をもつ剤

ダブルインパクト

植物ホルモン

+

アミノ酸

ターザインプロDF

アミノ酸

+

細胞分裂

フレピオン液剤

アミノ酸

+

代謝

製品紹介

サーベルDF

低薬量で安定した効果



茎葉処理

- 極めて低薬量で安定した効果を得られます。
- 雑草の茎葉部、根部から吸収され、アミノ酸の生合成を阻害します。
- 多年生広葉雑草には、秋冬期（10～2月）の処理が最も効果的です。
- クズへの使用では、晩秋（10～11月）の養分転流期の散布が効果的です。
- クズ防除には登録上の最大薬量（0.01g/m²）での使用をおすすめします。

- ▶芝の萌芽期～生育初期、および芝の生育が劣っている場合には、生育抑制などの薬害を生じることがあるため使用しないでください。
- ▶樹木、花きなどの茎葉にかからないよう、注意してください。
- ▶西洋芝に使用する場合は、温暖地・暖地や未完成ターフでは使用しないでください。
- ▶メトスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数は1回以内です。

- 有効成分：メトスルフロンメチル 60.0%
- 毒性：普通物
- 包装：10g/袋、10袋入り/ケース

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	1年生及び多年生 広葉雑草	秋期～冬期 (雑草発生始期～生育初期)	2～4g	150～200L
西洋芝（ペレニアルライグラス、 ケンタッキーブルーグラス）		秋期～冬期 (雑草発生始期)	1～2g	200L
樹木等		雑草生育初期	5～10g	100～150L

カーブSC

発生初期のスズメノカタビラにも効果あり



- 土壌に処理層を形成し、幼芽・幼根での細胞分裂を阻害します。
- 発生初期のスズメノカタビラにも効果を発揮します。
- 長い残効性を持ち、秋期散布で120日以上効果が続きます。
- カーブ水和剤よりも有効成分の粒子が細かいため、分散性がよく、より安定した薬液が調合できます。（※これまで同様、よく攪拌してからご使用ください。）
- 液体なので計量がしやすく、取り扱いが容易です。

- ▶洋芝（特にペントグラス）に対して薬害を生ずるおそれがあるため、使用しないでください。
- ▶プロピザミドを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

- 有効成分：プロピザミド 36.0%
- 毒性：普通物
- 包装：1L/本、10本入り/ケース

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生雑草 (キク科を除く)	雑草発生前（芝生育期）	400～600ml	200～300L
	スズメノカタビラ	秋冬期雑草発生初期（芝生育期）		

バイザー水和剤

一年生雑草に長期間の効果



- 広範囲の一年生雑草に対し高い除草効果を示す土壌処理剤です。
- 残効性が極めて長く、春期処理で120日以上、秋期処理で180日以上抑草します。
- 日本芝・西洋芝どちらでも使用できます。
- 発芽後の雑草には効果が劣ります。但しメヒシバには出芽直後にも活性を示します。
- ヤハズソウ、イヌタデ、オランダミミナグサ、オオイヌノフグリ、ナズナなどにも効果があります。

- 有効成分：ジチオピル 40.0%
- 毒性：普通物
- 包装：500g/袋、4袋入り/ケース



- ▶ジチオピルを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前（芝生育期）	50～100g	200～300L
	一年生雑草	秋期雑草発生前（芝生育期）	100～200g	
西洋芝（ケンタッキーブルーグラス）	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前（芝生育期）	50～100g	
	一年生雑草	秋期雑草発生前（芝生育期）		
西洋芝（ライグラス）	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前（芝生育期）		

取扱い・お問合せは—



〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968